

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49 (18)	コロナ禍以前は外出行事や外食行事等、外に出て活動する機会を多く持っていたがコロナ禍から約3年外出援助が出来ていない。	・コロナの状況に応じ直接面会、外出や外食援助を実施していく。	苑内では散歩、体操、日光浴等レク活動を継続するとともに、コロナの状況をみつつ、直接面会や外散歩等を実施し、少しずつ外との関りを持つ援助をを実施していく。	12ヶ月
2	10 (6)	コロナ禍において、ご家族様と関わる機会が減っている。以前と同じく新聞やお便り等で現状報告はしているものの、新規の入居の方や頻繁に面会にいられていた方等には情報不足であった面も否めない。コロナ禍においても十分な関わりを持てる工夫が必要となっている。	・利用者様はもちろん、ご家族様のサービス満足度を向上する。	・LINEの登録を促し、連絡機会を増やせる様支援する。 ・毎月発送分のお手紙等をより細かく記載する ・オンライン面会の利用を促し、利用者様とご家族様の関わる機会を増やす ・地域のコロナ発生状況を鑑み、直接面会の機会を設ける(全館統一の対応をする) ・新規入居や状態変化の際はこまめに連絡・相談する	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月